



平成30年度王城寺原演習場における米軍実弾射撃訓練  
の実施に伴う安全対策等について（要 請）

王城寺原演習場における米軍実弾射撃訓練の実施に当たっては、去る12月12日、当協議会として、米兵の外出自粛や射撃訓練の実施時間帯への配慮等に加え、くれぐれも事件・事故が起こることのないよう、安全対策に万全を期すとともに、地元に対する適時・的確な情報提供、訓練公開を継続して実施すること等を要望したところです。

これらの事項について、今後とも、国として責任をもって誠意ある対応をされますとともに、米軍実弾射撃訓練の訓練日程等が明らかにされたことに伴い、今後、下記事項についても万全の措置を講ずるよう強く要請します。

記

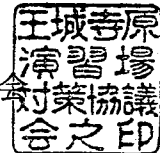
- 1 訓練部隊の移動に当たっては、関係自治体や施設管理者への事前の周知を図るとともに、次の事項に十分配慮すること。
  - (1) 仙台空港における離発着が予定される場合には、一般の利用客に迷惑が及ぶことのないよう十分な対策を講ずるとともに、規定の運用時間帯で行うこと。
  - (2) 仙台港港湾施設の使用が予定される場合には、他の船舶及び港湾活動に影響を及ぼさないよう十分配慮すること。
  - (3) 部隊の移動や訓練物資の移送に当たっては、交通法規を遵守することはもちろんのこと、交通渋滞や交通事故等の防止に万全を期すこと。
- 2 米兵の移動に当たっては、地域住民に不安を感じさせないように、銃の携帯方法等について、十分配慮すること。
- 3 従来からそれぞれ個別に実施されてきた訓練公開とブリーフィングについては、近年あわせて行われるようになるなど、簡略化されてきている。

地元との信頼関係をより強固なものとしていくためにも、地元に対する情報提供を後退させることなく、訓練公開及びブリーフィングを確実に実施するよう、米軍と調整すること。

平成31年1月11日

東北防衛局長  
伊藤 茂樹 殿

王城寺原演習場対策協議会



宮城県副知事	佐野好昭
大和町長	浅野元
大衡村長	萩原達雄
色麻町長	早坂利悦